

令和元年度事業報告

令和元年度も前年に引き続き公益目的事業として、高齢者の社会参加を促進するため就業等の活動機会の確保・提供をする事業を実施しました。

実績では、年度末会員数は737人で、前年比4.5%の減少となりました。事業実績は受託事業は1.4%減の3億5千万円台、派遣事業は7.6%増の2千8百万円台となりました。また、秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町からの委託事業として定住自立圏事業のファミリー・サポート・センター事業を実施し、子育て支援事業の拡大を図りました。

会員獲得、高齢者の健康増進を図ることを目標に始めた、「フレイル予防教室事業」は、新型コロナウイルスの影響で3月を除き、年間を通じて事業を行いました。また、埼玉県シルバー連合との連携事業として、就業体験事業を実施し、会員獲得に努めました。

地域の社会福祉活動のため、シルバーまつりでのバザー等の売上のうち30,349円を市へ寄附しました。

事業運営にあっては、理事会及び3つの委員会を中心に行いました。

以下、主な事業の成果についてご報告いたします。

- (1) 安全・適正就業意識の啓発
- (2) 会員の入会促進
- (3) 就業機会の開拓
- (4) 就業機会の公平な提供
- (5) 普及啓発の促進
- (6) 各種研修会の開催
- (7) 運営体制の強化
- (8) 有料職業紹介事業の実施
- (9) 派遣事業の実施
- (10) ボランティア活動の推進
- (11) 独自事業の実施
- (12) 定住自立圏事業の実施
- (13) 地域就業機会創出・拡大事業の実施
- (14) 健康づくり・フレイル対策

1 安全・適正就業意識の啓発

安全・適正就業委員会による委員会の開催及び現場巡回を実施して、安全な就業環境及び適正就業の推進を図る取組みをするとともに、健康管理について啓発を行い、「安全・適正就業だより」を随時発行しました。令和元年度の事故の状況は、傷害事故3件、物損事故3件となりました。事故の防止、安全就業の確認を目的に、安全チェックシートの記入を義務化するとともに、草刈機を使用しての就業を希望する会員に対し、「刈払機作業従事者安全衛生教育講習会」を受講し終了すること及びセンター指定の講習を年1回以上受講することを義務化し、安全就業に努めました。

また、会員の減少、高齢化に対応するため、危険と思われる就業でない就業について年齢制限を撤廃しました。合わせて、公用車を運転する会員に、運転に関する講習受講を義務付けるとともに、センター所有の車両全車にドライブレコーダーを取り付け、安全就業に努めました。

2 会員の入会促進

毎月10日（休日の場合は翌日）に入会説明会を開催するとともに、説明会の日程に合わせて埼玉県シルバー連合からの委託事業として、就業体験事業を10回行い、70名の会員が登録手続きを行いました。内3名は、入会キャンペーン（1月20日から3月10日まで）の結果による入会者でした。

3 就業機会の開拓

安全巡回等を実施した際の発注者への就業開拓の働きかけ、理事と会員による就業開拓、会員が就業先でのPRに努めるなど、就業機会の確保と会員の能力を活かした新しい就業分野の拡大に努めました。

4 就業機会の公平な提供

仕事情報を掲載した「通信シルバー秩父」を年6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）、「お知らせ」を年6回（4月、6月、8月、10月、12月、2月）発行し、「就業案内」は毎月作成して会員に配布しました。職業紹介体制の整備を図り、「就業の提供に関する基準」の一部改正により、会員の就業機会の拡大を図るとともに、公平な就業機会の提供を行うために、各種資料を事務所内のラックに設置し、また、ホームページにおいても就業案内を掲載しています。

5 普及啓発の促進

第12回秩父市シルバーまつり開催の記事を市報に掲載するとともに、令和元年

9月8日（日）に開催しました。また、親睦会で活動する会員を中心にバザーを行い、収益金 30,349 円を地域の社会福祉活動事業活用のため秩父市に寄附しました。

芝桜期間中は会員の手作り品の販売を兼ねた PR 活動、他市シルバー祭りに参加し手作りまんじゅう実演販売、いきいきフェスティバル、鉄道フェアでの PR 活動（伊奈町）等を行いました。

6 各種研修会の開催

会員の技能向上と後継者育成のため、植木剪定講習会を実施し、20名の参加者がありました。草刈機取扱い講習会及び実地研修を計4回実施し、104名の参加者がありました。

会員の交通安全と救急対応のため、ドライバードックを2回開催し、70名の参加者がありました。自転車講習を開催し、25名の参加者がありました。新たに運転適性診断会を開催し、36名の参加者がありました。救急救命講習は、18名の参加者がありました。

7 運営体制の強化

理事会、委員会の機能強化を検討し、規程の整備を行うと共に理事中心の活動を行いました。

8 有料職業紹介事業

令和元年度実績はありませんでした。

9 派遣事業の実施

定款変更により、派遣事業における人手不足分野の業務拡大が可能となりました。高齢者活用・現役世代雇用サポート事業として、飲食店や旅館での皿洗い、清掃作業と、工場内の部品加工、学童補助等に51名の会員が従事し、就業延人員5,133人日、シルバー人材センター連合における契約金額は、28,357,313円となりました。法定研修を含む派遣会員研修（教育訓練）を14名が受講しました。

10 ボランティア活動の実施

地域で親しまれるシルバー事業の推進を図るため、12月4日に市内清掃のボランティア活動を47名で行いました。

前年に引き続き、事業委員会で、南小学校の児童に秩父音頭の指導を行いました。

9月の運動会までに7月～9月の間に3回にわたり、延べ34名の会員が指導を行いました。

また、会員による福祉女性会館周辺の除草作業、無人販売所での野菜販売等、地域の市民との交流を深めるための事業の推進を図りました。

11 独自事業の実施

企画提案型事業（シルバー農園事業等）で立ち上げた農園事業を年間を通し、交流を深める希望を持った会員の参加を促し、事業を実施しました。

また、竹細工人形、すかり、小物等の委託販売の実施、手作りまんじゅうの販売、折り紙を使った子供との交流等各種イベントに参加し実施しました。

12 定住自立圏事業の実施

1市4町（秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町）からの委託事業としてファミリー・サポート・センター事業及び秩父市からの委託事業として産前・産後サポート・センター事業の充実を図りました。シルバー会員やシルバーに入会が期待される方の活動を中心に行いました。

安心、安全な活動ができるよう、厚生労働省の推奨するファミリー・サポートスキルアップ講習会（10科目、25時間）を実施し、14名参加しました。

13 地域就業機会創出・拡大事業の実施

就業開拓及び普及啓発について、口コミ、チラシの配布等で行いました。空き家の適正管理、墓地の清掃等就業を進め、家事援助サービス事業については、清掃講習等実施し、技術の向上に努め就業の拡大につなげました。

14 健康づくり・フレイル対策

健康増進、会員獲得等目標に、平成30年に立ち上げ、令和元年度に本格的に事業を始めました。シルバー連合での研修を受けた会員が講師として、健康長寿のために、栄養、身体活動、社会参加について、指導しました。教室を100回開催し、61人の会員、市民の方に参加いただきました。